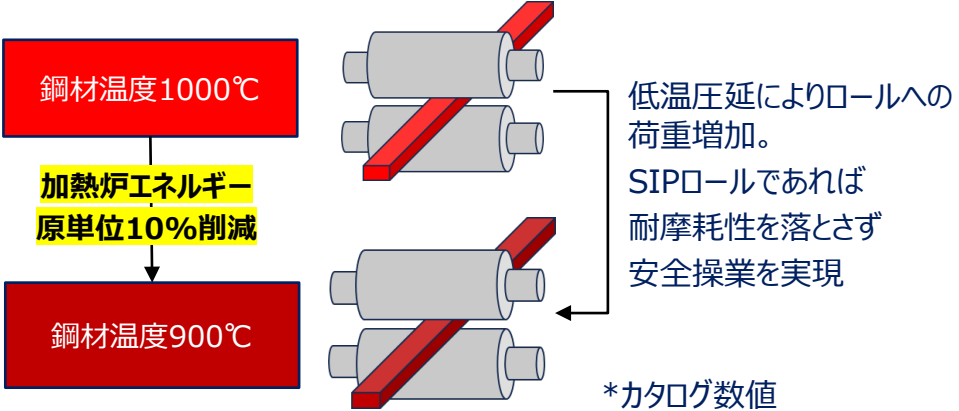


住友重機械ハイマテックス株式会社

- 圧延ロールは製鉄所にて鋼材に圧下をかけて引き伸ばす圧延工程で使用されています。当社SIP(Sumitomo Improved Penetration of hardness)ロールは独自の特殊熱処理によって従来品に比べて耐摩耗性を維持しつつ高い荷重にも耐えられることが特徴です。
- 近年鉄鋼メーカーは省エネ・カーボンニュートラルの一環として加熱炉のエネルギー原単位向上のため鋼材加熱温度を抑えた低温圧延を実施しロールに高い荷重がかかる傾向にあります。
- 当社SIPロールを使用することで低温圧延でも生産性を落とさず安全に操業することができ、顧客の※加熱炉エネルギー原単位を10%程度改善することを実現します。
※炉出し鋼材温度1000℃→900℃の場合



機械的性質	従来品	SIPロール
硬度 (Hs)	45±3	45/50
疲労強度 (N/mm2)	186	235
破壊靱性値 (Kic)	185	203

カーボンニュートラル貢献ポイント

- ✓ 耐摩耗性を維持しつつ高い荷重に耐えられる性能を有する
- ✓ 顧客の加熱炉エネルギー原単位を10%程度改善